

## < 受付時間や留意事項 >

1. 各コースの初日受付時間  
3日間コース 9:30~10:00  
2日間コース 8:30~9:00  
マイページから受講票をダウンロードし、当日受付にお渡しください。  
2日間コースの方は日程の2日目からの参加となります。
2. この研修は指定席となっています。受講票に記載している受講番号の席に着いてください。
3. 研修当日は、申込み関係書類で不足のものを持参するよう指示があった以外は、筆記用具・付箋などをお持ちいただければ結構です。
4. 会場には受講者用の駐車場はございません。  
なるべく公共交通機関を利用されるようお願いいたします。  
自動車をご利用する場合は、付近の有料駐車場をご利用いただき、駐車料金はご自身で負担してください。
5. 昼食の用意はありません。講義室内での飲食、外出も可能です。
6. 講義室内は空調が効いておりますが、着脱しやすい衣服等をお持ちいただくことをおすすめいたします。
7. **最終日の修了試験は、16:20~17:40(80分間)を予定**しています。  
時間内に解答を終えた場合、試験開始40分経過後からお帰りいただけます。
8. 当日やむを得ず欠席、遅刻をされる場合は、研修委員会事務局まで必ずご連絡をいただけますようお願いいたします。  
一般財団法人 建築保全センター 研修委員会事務局  
TEL: 03-3553-0070
9. 納付された受講料は、特別の理由(開催中止等)以外は原則として返金いたしかねます。

## < 研修日程とプログラム >

日程	プログラム
<b>【1日目】</b> 10:20 ↓ 17:05	① 建築概論 (概要、構造、一般構造)
	② 建築概論 (建築施工、施工管理、法規、建設副産物とリサイクル)
<b>【2日目】</b> 9:10 ↓ 17:40	③ 改修の基礎知識、改修の最新動向
	④ 防水改修技術、建具改修技術
	⑤ 鉄筋コンクリート躯体改修技術、耐震改修技術
<b>【3日目】</b> 8:40 ↓ 17:40	⑥ 塗装改修技術、内装改修技術、 石綿含有建材の調査及び除去技術
	⑦ 改修施工管理、外壁改修技術、環境配慮改修技術
	⑧ 修了試験 (80分間 ※3日間の内容から出題されます)

※途中、昼休憩・小休憩があります。  
 ※ 講義終了が5分～10分前後する場合があります。

### < 福岡会場 >

福岡県自治会館 101会議室

福岡県福岡市博多区千代4丁目1番27号 TEL:092-651-4284

### < 大阪会場 >

大阪科学技術センター 700号室

大阪府大阪市西区靱本町1丁目8番4号 TEL:06-6443-5324

### < 東京会場 >

東陽セントラルビル ホール

東京都江東区東陽4丁目1番13号 TEL:03 - 3699 -5431



## < 結果通知から技術者登録までのスケジュール >

	福岡	大阪	東京
結果通知・登録手続 メール送付	8/17 (月)	9/10 (木)	10/16 (金)
登録手続 締め切り	8/31 (木)	9/28 (月)	10/30 (金)
登録証書 発送	手続締め切り後、 順次発送	手続締め切り後、 順次発送	手続締め切り後、 順次発送

※ cloudcourse@siscohd.jp・kensyu@bmmc.or.jp からのメールを受け取れるよう、設定してください。  
※ 締切後は、登録手続きをお受けいたしかねます。あらかじめご承知おきください。

## < その他 >

(一財) 建築保全センターのホームページ「講習会・研修、講演会」内の「よくある質問」をご覧ください。

<https://bmmc.or.jp/kenshutoannai/#yokuaru>



## 自然災害等による会場講習会の中止について

災害や悪天候、もしくは感染症の流行時など、不可抗力により講習会を安全に運営できない恐れがある際は、講習会を中止する場合があります。

### 1. 講習会中止の判断基準について

#### (1) 自然災害等の発生時

地震・台風・大雨等により講習会の開催が困難であると判断した場合、原則として講習会を中止します。

#### (2) 感染症等の流行時

感染症対策により感染拡大の恐れがあると判断した場合は、原則として講習会を中止します。

#### (3) 停電について

停電等が発生し、講習会の運営ができない場合、講習会を中止します。

### 2. 講習会中止の告知について

講習会の中止を決定した場合、決定した時点でホームページでお知らせします。

### 3. 中止に伴う順延等について

講習会中止の場合は、原則として同会場での振替えにて再受講となります。

※振替日にご都合が悪い場合は、他会場への日程変更が可能です。

### 4. 講習中の状況悪化時

講習中であっても、受講者の安全を確保することが望ましいと判断した場合にも中止します。

令和8年度

# 建築仕上げ リフォーム技術研修

こんな方に  
受講をおすすめします

- ✓ 資格を取りたい
- ✓ 公共工事の入札要件に備えたい企業・担当者
- ✓ 改修技術を体系的に学びたい
- ✓ 知識をアップデートしたい
- ✓ 最新動向を知りたい
- ✓ 大規模改修の診断・計画・施工に従事されている方

## 「建築仕上げ改修施工管理技術者」

### 資格取得研修

### 改修施工技術全般を“体系的に学べる”研修

- ▶ 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）に完全準拠した、体系的リフォーム技術研修。
- ▶ 防水・外壁・塗装・建具・内装・RC補修・耐震・石綿・環境配慮改修まで、改修工事に必要な全領域をひとつの研修で学べるカリキュラム。
- ▶ 診断 → 計画 → 施工管理までをワンストップで体系的に学べる総合研修プログラム。

	福岡	大阪	東京	オンライン
開催日	7/29 (水) ┆ 7/31 (金)	8/25 (火) ┆ 8/27 (木)	9/30 (水) ┆ 10/2 (金)	11/16 (月) ┆ 12/1 (火)  2/8 (月) ┆ 2/23 (火)
コース	3日間/2日間	3日間/2日間	3日間/2日間	A/B

※オンラインは、いずれの期間も同じ内容の講義を配信します。期間中、好きな時間にアクセスし受講できます。

#### 受講料（使用テキスト①を含む）

3日間・Aコース（7講義） 59,400円（税込・テキスト①を含む）

2日間・Bコース（5講義） 40,150円（税込・テキスト①を含む）

#### 使用テキスト ②③④は、電子ブック版あり

①令和8年度建築仕上げリフォーム研修テキスト（受講者全員に配布します。）

②公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版

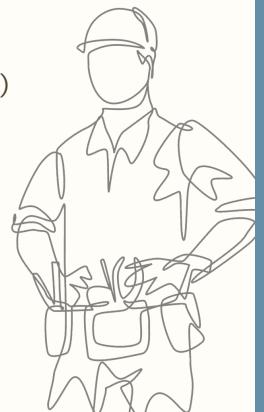
¥6,400（税込・受講者特別価格）

③建築改修工事監理指針 令和7年版（上巻）

¥9,300（税込・受講者特別価格）

④建築改修工事監理指針 令和7年版（下巻）

¥8,800（税込・受講者特別価格）



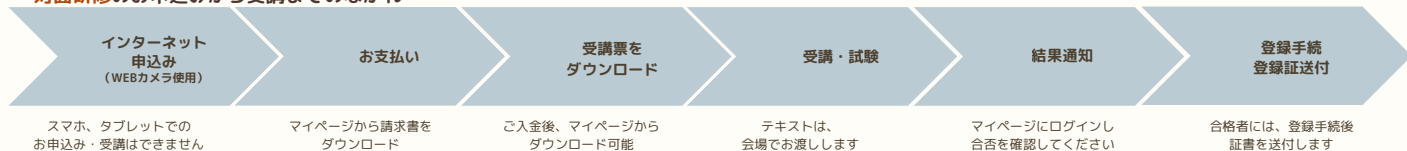
対象コース	プログラム	講義時間 h:m
3日間・A	① 建築概論（概要、構造、一般構造）	2:15
3日間・A	② 建築概論（建築施工、施工管理、法規、建設副産物とリサイクル）	3:00
全コース	③ 改修の基礎知識、改修の最新動向	2:15
全コース	④ 防水改修技術【3章】、建具改修技術【5章】	2:15
全コース	⑤ 鉄筋コンクリート躯体改修技術、耐震改修技術【8章】	2:15
全コース	⑥ 塗装改修技術【7章】、内装改修技術【6章】 石綿含有建材の調査及び除去技術【1・9章】	3:00
全コース	⑦ 外壁改修技術【4章】、環境配慮改修技術【9章】 改修施工管理【1・2章】	3:00
全コース	⑧ 修了試験（全コース共通問題）	1:20

- ※ 2日間・Bコースはプログラム①②が免除されます。
- ※ 対面研修の2日間コースの場合は、日程2日目からの参加となります。受付時間、留意事項は申込みシステムの「参考資料」をご覧ください。
- ※ 2日間・Bコースは一級建築士、1級建築施工管理技士の有資格者が対象です。
- ※ 視聴は1度限りですが、中断・ログアウトすることができます。中断した箇所から再開できます。（オンラインの場合）
- ※ 動画は再生速度の変更および戻すことはできません。（オンラインの場合）
- ※ 試験はテキストの参照が可能です。
- ※ 【○章】は「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」において主に対応する章番号です。

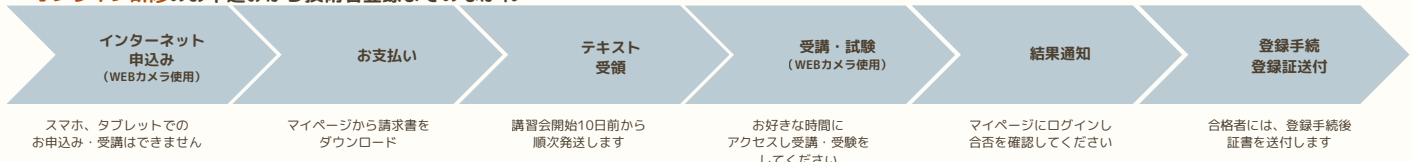
- ▶ 改修工事の受注が増えてきており、今後の**受注拡張**のため資格取得を考えました。
- ▶ 経験値で仕事をしてきたが、根拠がなかった分野が多く**面白かった**です。
- ▶ 公共工事の**入札要件**に「建築仕上げ改修施工管理技術者」の配置を求められているため、資格を取得しました。
- ▶ 法改正等による**最新技術**の施工・資材等を知ることができた。
- ▶ スライド形式のテキストがすごく見やすく一目でわかる。テキスト内容は、**監理指針のすばらしい解説書**になっている。



ー 対面研修のお申込みから受講までのながれ ー



ー オンライン研修のお申込みから技術者登録までのながれ ー



\*お支払い・請求書についてはホームページをご確認ください。

【後援】 国土交通省

- |   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <p>【協賛】 (一社)板硝子協会</p> <p>【予定】 (一社)仮設工業会</p> <p>(一財)建設業振興基金</p> <p>建設業労働災害防止協会</p> <p>(一社)建築開口部協会</p> <p>(一社)建築設備技術者協会</p> <p>合成高分子ルーフィング工業会</p> <p>(一社)J A T I協会</p> <p>せんい強化セメント板協会</p> <p>(一社)全国建設業協会</p> | <p>全国自動ドア協会</p> <p>(一社)全国タイル業協会</p> <p>(一社)全国中小建設業協会</p> <p>全国ビルリフォーム工業業協同組合</p> <p>(一社)全国防水工業協会</p> <p>低圧樹脂注入工法協議会</p> <p>(一社)日本インテリア協会</p> <p>日本ウレタン建材工業会</p> <p>日本外壁仕上業協同組合連合会</p> <p>(一社)日本建設業連合会</p> | <p>(一社)日本建設あと施工アンカー協会</p> <p>(一社)日本建築学会</p> <p>(一社)日本建築構造技術者協会</p> <p>日本建築仕上材工業会</p> <p>(公社)日本建築士会連合会</p> <p>(一社)日本建築士事務所協会連合会</p> <p>日本鋼製下地材工業会</p> <p>(一社)日本左官業組合連合会</p> <p>(一社)日本サッシ協会</p> <p>日本シーリング材工業会</p> | <p>(一社)日本シャッター・ドア協会</p> <p>日本樹脂施工協同組合</p> <p>(一社)日本タイル煉瓦工事工業会</p> <p>(一社)日本塗装工業会</p> <p>日本塗布床工業会</p> <p>(公社)日本ファシリティマネジメント協会</p> <p>(一社)日本フローリング工業会</p> <p>(一社)日本壁装協会</p> <p>(一社)日本防水材料協会</p> <p>(公社)ロングライフビル推進協会</p> |
|---|---|--|---|

